

利用者懇談会報告(平成 29 年度 3 月) 【柳沢公民館】

開催日時	平成 30 年 3 月 24 日(土) 14 時 00 分～15 時 20 分
会 場	視聴覚室
参加者数	利用者：76 団体、83 人(公運審委員 2 人を含む) 職 員：4 人(館長、職員 3 人)
今回のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い館運営を行うため、利用者と意見交換を行い、相互理解を目指す。 ・活動曜日ごとにグループに分かれて団体の活動紹介等を行い、利用団体同士の交流を図る。 ・団体連絡箱の調整
次 第 (形 態)	<p>1. 開会 2. 施設利用に関して ①平成 30 年度の施設工事について ②団体登録の更新について ③公共施設予約管理システムの更新について ④空室の当日貸し及び打ち合わせを目的とした団体・印刷室の利用について ⑤来館者用駐車場の利用について ⑥ロビーの利用について ⑦サークル紹介誌について 3. 公民館事業に関して ①開館 30 周年記念事業の報告 ②平成 30 年度事業計画について 4. 活動曜日ごとに分かれて団体の活動紹介 5. 団体連絡箱について 6. 閉会 ※閉会后、新規申請団体と変更・移動希望団体を対象に団体連絡箱の調整を行った。</p>
施設利用に関して	<p>下記の事項について、公民館から説明等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9 月の利用懇で平成 30 年度に空調設備工事を行う可能性があるかと伝えたが、平成 30 年度は実施しないこととなった。 ・平成 30 年度は 5 年に 1 回の公民館登録団体の団体登録更新年度に該当する。手続きの期間は 9 月～12 月に予定している。詳細は公民館だより 8 月 1 日号でお知らせする。 ・平成 30 年度に公共施設予約管理システムが変更となる。新システムは平成 31 年 1 月稼働予定(1 月以降行う随時予約と平成 31 年 3 月分の仮申請から新システム)。 ・平成 29 年 12 月 1 日から、空室の当日利用と打ち合わせを目的とした団体・印刷室の利用が可能となった。詳細については配布資料参照。 ・平成 29 年 12 月 1 日から、来館者用駐車場の利用については、原則として 1 団体につき 1 スペースをお願いしている。車のフロントガラスの所に駐車票を置くことで、空きスペースがある場合は、1 台目の利用となる団体が来るまでの間、複数台となる団体が利用できるようにしたいと考えている。詳細が決まったらお知らせする。 ・ロビーは多くの市民によって多様な利用の仕方がされている。ロビー展示の準備や後片付けの際は、他のロビー利用者に配慮しながら行っていただきたい。 ・開館 30 周年を機に、柳沢公民館で活動するサークルの活動紹介誌を作成した。平成 30 年度に改訂版を発行する予定なので、今日配布した紹介誌に掲載されていないサークルは、5 月 2 日までに原稿を提出していただきたい。
質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> ・利) 公共施設予約管理システムの更新が予定されているとのことだが、変更点について教えてほしい。現在のシステムでは利用可能時間に制限があるが、新システムでは利用可能時間を延長してほしい。 公) 現時点では詳細については不明。4 月以降、内容が明らかになったら、お知らせする。 ・利) サークル紹介誌はどのように配布しているのか。館内に置く場合は、どこに置くのか。 公) サークル紹介誌は、館内に置いて自由に持って行くことができる形では配布していない。事務室カウンターに置き、学習相談や公民館登録団体についての問い合わせなどを受けた場合に渡している。なお、配布用の紹介誌には団体の連絡先を記載しない。団体の連絡先については、通常の場合と同じ方法で教える。

<p>公民館事業に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開館 30 周年記念事業について報告。 ※詳細は配布資料参照 ・平成 30 年度の事業計画について連絡。 ※詳細は配布資料参照 ・開館 30 周年記念事業実行委員会委員長から、記念事業を実施した感想を話していただいた。 ・開館 30 周年記念発表会の時の混声合唱団コールフロイデによる柳沢公民館記念加「ふれあいのうた」の二部合唱の映像を上映。 												
<p>活動曜日ごとに分かれて団体紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動曜日ごとに、月、火、水、木、金、土、日曜日の 7 グループに分かれて、互いに団体の活動紹介を行う。 ・不定期に活動する団体については、いずれかのグループに参加していただいた。 												
<p>団体連絡箱について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規申請団体および連絡箱の種類変更希望団体があったが、申請数が使用可能数を超えなかったため、抽選は行わなかった。また、新規申請団体等が空いている連絡箱を使用することを了解したため、全体的な連絡箱の移動も行わなかった。 <table border="0" data-bbox="336 689 1222 819"> <tr> <td>【新規】小</td> <td>2 団体</td> <td>開き戸</td> <td>1 団体</td> </tr> <tr> <td>【変更】開き戸から引き戸へ</td> <td>1 団体</td> <td>引出から大へ</td> <td>1 団体</td> </tr> <tr> <td>【移動】小</td> <td>2 団体</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・団体連絡箱は、団体同士の情報交換にも活用できる。 ・団体連絡箱の鍵に不具合がある場合は、公民館へ連絡してほしい。 ・次回の申請受付時は、全体的な団体連絡箱の移動を検討したいと考えている。 	【新規】小	2 団体	開き戸	1 団体	【変更】開き戸から引き戸へ	1 団体	引出から大へ	1 団体	【移動】小	2 団体		
【新規】小	2 団体	開き戸	1 団体										
【変更】開き戸から引き戸へ	1 団体	引出から大へ	1 団体										
【移動】小	2 団体												
<p>質疑応答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利) 団体連絡箱を活用して催し物のチラシ等を他団体に配布する場合は、公民館の許可が必要か。 公) 内容を確認させていただきたいので、事前に公民館に相談してほしい。 ・利) 職員の勤務時間外はどうしたらよいか。 公) 配布物を警備職員に預けてほしい。 												
<p>印象・反省点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の利用懇は、館長以下 4 人の職員のみで運営することとなり、活動曜日ごとのグループの話し合いに職員が立ち会うことができなかつたため、団体の活動紹介だけ行う場とした。公民館利用に関しての意見交換ができなかつたことは残念であったが、「初めて話をした団体があった」「いろいろな活動をしている団体があることがわかつた」等の感想があつた。活動曜日ごとのグループに分かれての話し合いは、今後も継続していくことが望ましいと考える。 ・柳沢公民館記念歌「ふれあいのうた」を初めて聞いたという参加者も多かつた。今後も、記念歌を利用者に知っていただく機会として利用懇を活用することを検討したい。 												
<p>配布資料</p>	<p>1. レジューメ 2. 空室の当日貸し及び打ち合わせを目的とした団体・印刷室の利用について 3. 柳沢公民館来館者用駐車場の利用について (①お願い、②来館者用駐車場の配置図、③柳沢公民館周辺駐車場案内図) 4. 柳沢公民館利用サークル紹介誌 (①冊子、②原稿募集) 5. 柳沢公民館開館 30 周年記念事業報告 6. 柳沢公民館記念歌「ふれあいのうた」(①歌詞、②楽譜) 7. 平成 30 年度西東京市公民館事業方針 8. 平成 30 年度柳沢公民館事業計画予定 9. メッセージカード</p>												

利用者懇談会報告(平成 29 年度 3 月)

【田無公民館】

開催日時	2018 年 3 月 3 日(土) 10 時 00 分～11 時 30 分 (前半…利用者懇談会 後半…団体連絡箱調整会)
会 場	視聴覚室
参加者数	利用団体：87 団体 90 人(公民館運営審議会委員 1 人含む) 職員 6 人(館長、分館長、専門員 4 人) 合計 96 人
今回のねらい	○利用者懇談会の意義と必要性の説明 ○施設使用上の留意事項(田無公民館からのお願い)の確認 ○平成 29 年度事業の総括、平成 30 年度重点事業の確認 ○施設や備品等についての意見交換、運営上の課題等の共有 ○平成 29 年度防災訓練(2 月 16 日)報告事項の共有、災害時の避難行動の確認 ○団体連絡箱の調整
次 第 (形 態)	①館長挨拶、職員紹介、利用者懇談会の趣旨説明 ②公民館から報告 ③公民館からのお願い ④公民館への要望・意見の交換、質疑応答 ⑤団体連絡箱調整会
公民館側からの連絡事項等	○来年度事業(案)について ○田無公民館 40 周年記念誌作成について ○田無公民館の事業について ○田無公民館の防災について ○施設内の共有部分(ロビー、トイレ)について ○駐車場利用券、夜間警備体制について ○施設、備品について ○1 階ロビーの活性化について ○田無公民館ニュースについて ○各担当から事業の説明 ○使用時間の徹底(5 分前退出のお願い)について ○無断キャンセルについて ○印刷機原紙使用料の支払いについて ○備品の貸出し、取扱いについて ○音出し可能な部屋について ○目的に沿った部屋の使用について ○室内備品配置の復元、倉庫の整理について ○団体連絡箱の施錠について ○使用確認票の記入について ○忘れ物について ○「私達はこんなグループです」の更新について ○代表者、担当者の更新について ○節電、節水、空調温度設定について ○給湯室扉の鍵について
主な意見等 ●…市民 ○…公民館	●耐震工事となる平成 33 年度までの間、施設は災害に耐えられるのか。また、工事内容はどのようなものか。●閉館中の代替場所はどうなるのか。耐震改修工事の決定に至るまでに市民相談はあったのか。施設を「残す」のは良いが、10～15 年後の構想はあるのか。●全館改修にともない、どれくらいの期間使えなくなるのか。代替施設としては下宿地区会館、イングビル、庁舎会議室を使えるようにして欲しい。○(工事内容について)壁の補強と筋交いを施す。倒壊のおそれがある非鉄筋部は全て撤去し、再構築する。○(災害への心配について)基本設計、実施設計、工事にそれぞれ 1 年かかる。古いとはいえ施設は鉄筋コンクリートである。強度不足があるのは地下 1 階、1 階、2 階で、3 階に不足はない。大きな地震のないことを願う。○(市民相談や説明の経緯について)昨年 6 月、市長から既存施設の有効活用に関する説明があった。田無公民館は耐用年数を伸ばして使う考えが示された。○(将来の構想について)現在の「(通称?)市民広場」に仮庁舎を建てる。多くの課が保谷庁舎からそこ

	<p>に移動する。平成 31 年度に策定ローリング（巡回策定？）をおこない、市内公共施設のあり方を検討する。○（代替施設とその期間について）空調のみの工事を予定している柳沢公民館が4ヶ月は閉館する見通しであることを鑑みて、田無公民館の閉館期間については1年間にわたるものと考えている。精確なデータはまだなく、おおむね1年とみている。多様な設備のある田無公民館の代替場所については、皆様から話を伺って検討した上で、代替場所の管轄となる各部署への相談、交渉を進めていきたい。●今回の耐震工事を契機に、利用者の声をもっと聞くようにしてもらいたい。設備への要望などが言い出しづらい。○平成 30 年9月頃までに、そうした機会を必ず設けるようにする。●そうした機会には必ず、図書館側の出席をお願いしたい。○田無公民館の施設管理者は中央図書館であることを踏まえても、必ず出席させるようにする。●災害時、図書館、公民館利用者はどこへ逃げればよいのか。○地下を通過して東側駐車場へ、もしくは「きらっと」へ退避となる。●（田無公民館まつりについて）「展示」部門は、公民館でやるべきだ。会場が「きらっと」2階では、せっかく参加しても来場者に展示を見てもらえない。○会場割りは、毎年参加状況を鑑みて実行委員会で検討し、決定している。</p>
<p>印象、反省点</p>	<p>○耐震改修工事や工期中の代替場所に関して、利用者の関心の高さが窺えた。意見や要望、具体案の妥当性などを検討する「合議」の機会の必要性を強く感じる。また、そうした機会の周知を徹底し、「合議のもとに進められた」という共通認識を形成することが、公民館の役割であると感じる。</p>
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用懇レジュメ ・「私達はこんなグループです」

利用者懇談会報告(平成 29 年度 3 月)【谷戸公民館】

開催日時	2018 年 3 月 3 日(土) 14 時 00 分～15 時 30 分
会 場	学習室
参加者数	32 団体 34 名 職員・・・大橋館長、長谷部分館長、小林、小野、伊勢
今回のねらい	多くのサークルに参加を促し、公民館とサークル、サークル同志の交流を図る。 団体連絡箱の調整会も兼ねる。
次 第 (形 態)	①館長、分館長挨拶 ②職員紹介 ③出席者自己紹介 ④公民館からのお知らせとお願い⑤30 年度事業方針について(講座も含め青少年の居場所として公民館を活用する) ⑥部屋利用について ⑦団体連絡箱について ⑧谷戸まつりについて ⑨谷戸公民館 30 年度の主催講座について ⑩講座報告(紫草の中間報告) ⑪質疑応答・情報交換 ⑫その他
公民館側からの連絡事項等	① 30 年度事業方針について (i 共生社会の実現について取り組む、 ii 障がい者と健常者と一緒に取り組める内容の事業)②部屋利用について ③団体登録の5年毎の更新について。④団体連絡箱について ⑤谷戸まつりについて ⑥30 年度谷戸公民館主催講座について概略案内 ⑦積雪による凍結で、水道管破損のため、水道管工事中には、トイレ使用などご迷惑をかけ利用者のご協力に感謝。
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・団体連絡箱の利用を 1 団体 2 つの利用はできないか(荷物などが多く)。 ⇒1 団体 1 つと決まっているので、荷物が多いときなど、一時的に預かるなどの対応など検討するので、事務室にご相談を。 ・一昨年はルノワール、昨年はル・コルビジユエ、北斎などの講座があり、いずれも美術館や実際の施設を見ながら専門家の話を聞くことができ有意義でした。芸術講座は谷戸の講座として継続して欲しい。 ・サークル内で、利用者懇談会の内容を共有するため議事録の配布を希望する。 ⇒利用者懇談会の議事録を作成し、配付で対応。 ・紫草栽培染色講座の報告 紫草(むらさき)は都内の学校の校章などにも使用されるなど、ゆかりのある植物。紫草を育てて紫根染めを目指し、2/28、3/14 に専門家の講師をお招きしての講座。JCOM 西東京の取材も受け、1 週間は動画配信される。
印象、反省点	団体連絡箱の調整会を兼ねていたこともあり、多くの参加者があった。机を無くし、円座にすることで、サークル名と名前だけでなく簡単に活動内容などにも触れ会員募集もするサークルもあり、小さな交流の場となった。また、利用懇を待たずに希望や意見など随時に事務室にて対応できる開かれた公民館であることを伝えた。終始和やかな雰囲気で見送ることが出来た。
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・谷戸公民館利用者懇談会レジュメ ・部屋利用状況についての資料 ・谷戸市民映画会ご案内のチラシ ・谷戸まつりバザーのチラシ

利用者懇談会報告(平成 29 年度 3 月)

【ひばりが丘公民館】

開催日時	2018 年 3 月 24 日(土) 10 時 00 分～12 時 00 分
会 場	集会室
参加者数	市民：55 団体 65 人、(公民館運営審議委員 1 人を含む) 職員：6 人(公民館長、公民館専門員 4 人、再雇用嘱託員 1 人)
今回のねらい	<p>■利用者の視点から、運営上の課題及び施設等に意見をいただき、参加者で話し合う。</p> <p>■「29 年度のひばりが丘公民館事業報告」をパワーポイントで上映を行い、公民館の事業の見える化を通じて、公民館活動の理解を深めてもらう。</p> <p>■利用者同士の対話を促し、公民館、利用者がそれぞれ一方向の報告や要望にならないようお互いの意見交換の場、問題解決の場となるような運営に配慮する。</p> <p>■ひばりが丘公民館の防災対策について、利用者と職員が一緒に確認し、改善に向けて意見を出し合う。</p>
次 第 (形 態)	①館長挨拶、職員自己紹介 ②平成 29 年度事業報告(パワーポイントによる) ③公民館からのお知らせとお願い ④平成 30 年度事業について ⑤質疑応答 ⑥防災に関する意見交換 ⑦団体連絡箱調整会
公民館側からの 連絡事項等	<p>■公民館からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共予約システムの変更について ・公民館団体登録届の 5 年更新について ・部屋の当日利用について ・部屋の特例使用について ・保谷駅前公民館の集会室の区分変更について <p>■公民館からのおお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋の使用時間について ・公民館前の路上喫煙及び夜間の話し声について ・公民館前の路上駐車について ・選挙の投票所指定について ほか <p>■報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度ひばりが丘公民館事業報告及び平成 30 年度事業方針について <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害への公民館の備えについて意見交換 ・サークル体験会について <p>■団体連絡箱調整会</p>
主な意見等	<p>Q. 特例使用について最低どのくらいの時間が使えるのですか？</p> <p>A. 空き時間の届出書が出された中から希望の時間が合えば貸出すことができる。</p> <p>限られた部屋を皆で使っているので、事前に時間に空きが出ることが分かっている団体は届けを出していただければ、使いたい団体にご案内できる。協力いただきたい。</p> <p>Q. 備品についてのお願い。和室の炉について、従来から故障の都度直して使ってきたが、いよいよ調子が悪くなってきた。新しい物を購入していただきたい</p>

い。

A. 予算の範囲内で検討させていただく。

Q. 市民会館の閉館の際の団体の受入について、受け入れ態勢をどう考えているのか。

A. 市民会館に登録の団体も公民館で活動している団体と同じように団体登録をして、システムから抽選の手続きをとって部屋の利用をしていただく。まだ利用に空きのある公民館や時間帯もあるので、そのようなところを紹介していきたいと思う。

また、32年度は田無公民館の耐震改修工事の予定もあり、田無公民館も工事期間中は閉館になる予定。田無公民館の利用者近隣の代替施設にどんなところがあるのか、近隣の施設と協議しながら、ご案内出来る様に準備していきたいと考えている。

【災害への公民館の備えについて意見交換】◆：市民からの意見

◆日頃から避難経路図などを確認してはいなかった。活動の少しの時間を割いて、職員と一緒に備えの確認や防災訓練をするのは良いことではないかと思う。避難用の踏み台についての使い方についても教わって、確認したところだ。

→ご要望があれば、皆さんの活動日に避難経路図等の防災の説明に伺います。

◆ 避難用台を使った窓からの避難訓練を実際にやってみる必要があるのではないか。高齢の利用者もいて、台を使った避難が可能なのか検証もすべきでは？

→実際やってみたいというサークルさんに協力していただき、今後、台を使った避難訓練も取り組んでいき、皆さんに良い避難方法を検証していきたい。

◆ 避難経路図が渡されないことがある。受け取ることで完結してしまっ、中味を確認したことがない。鍵を取りに行ったときに、シートの内容について確認するよう声掛けしてもらえば、注意喚起になると思う。

→毎回部屋の鍵をお渡しする時に、お互いの確認も込めて避難経路図のシートの説明と皆さんでご確認いただくように言葉を添えるようにしたい。

◆ 土日夜間は警備員の対応になるかと思うが、その対策はどうなっているのか？

→土日夜間は警備員対応になるため、防災訓練で警備員も一緒に訓練を行っている。

◆ 職員不在時の有事の際の対応を警備員が担っているのであれば、利用者懇談会で警備員の紹介も行ってほしい。

→職員不在時は警備員の対応になるので、皆様に警備員を紹介させていただく。

	<p>◆ 土日しか活動していないのだが、土日にも職員が防災の説明に来てくれるのか？</p> <p>→土日のみ活動しているサークルの防災訓練については、どのような形が良いのか一旦職員で検討させていただき、回答させていただきたい。</p> <p>◆ 利用者側がもっと防災に関心を持って、職員と協力して取り組んでいくべきではないか。ひばりが丘公民館は分室になり、正職員がいない館なので、防災に関しては、特に、利用者の意識にかかっていると思う。</p>
<p>印象、反省点 (課題)</p>	<p>・ひばりが丘公民館は、分室という体制の下での課題を引き続き職員と市民が共に考えていく必要がある。今後もひばりが丘公民館の運営体制に対して、利用者に不安、不便がないように丁寧な説明を実施していきたい。</p> <p>・正職員不在の館であるため、防災に関しては利用者の協力と理解が不可欠である。今回様々な時間帯、曜日、年代層の団体から災害時の備えに関する意見が活発に出された。今後も、定期的に利用者と職員と一緒に防災への備えの確認をし、改善につなげていきたい。</p>
<p>配付資料</p>	<p>■平成 29 年度ひばりが丘公民館利用者懇談会【次第】</p> <p>■平成 29 年度ひばりが丘公民館 事業報告 ■平成 30 年度西東京市公民館事業方針</p> <p>■災害が発生したら・・・ ■部屋の当日利用について</p> <p>■公民館特例使用について ■アンケート用紙</p>

利用者懇談会報告(平成 29 年度 3 月)

【保谷駅前公民館】

開催日時	平成 30 年 3 月 24 日(土) 10 時~12 時
会 場	5 階 集会室
参加者数	54 団体、61 人 (公民館運営審議会委員 2 人を含む)
今回のねらい	5 年に 1 度の団体登録更新の時期を迎えるにあたって、公民館で学ぶことの意義、地域活動をどのように受け止めるかについて、集まった利用者同士で話し合い、自分たちの会のあり方について、改めて見直す機会とする。 団体連絡箱の調整会も兼ねる。
次 第 (形 態)	①公民館からの報告とお知らせ ②西東京市の公民館つどう・まなぶ・つなぐについて(グループ・質問形式での全員参加) ③団体連絡箱調整会 ④第 2 学習室利用団体懇談会⑤ランドピアノ利用団体懇談会
公民館側からの 連絡事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者懇談会とは ・職員紹介と平成 29 年度の担当主催事業の報告 ・公民館主催講座を行い、その講座参加者から 4 つのサークルが誕生した。(各新サークル代表者挨拶) ・集会室や第 2 学習室の壁の修繕等の報告 ・集会室のみ、平成 30 年 6 月利用分から、午後区分が 4 時で 2 分割され、4 区分に変更 ・備品使用申請書(9 月から使用している新書式)のご案内 ・西東京市の公民館つどう・まなぶ・つなぐ ・5 年に 1 度の団体登録更新手続きについて ・空き室があった場合の当日貸出について
主な意見等	<p>【団体登録更新手続きについて】</p> <p>更新にあたっての留意事項を公民館から一方的に伝えるのではなく、クイズ形式で問いかけ、グループで話し合う時間を設けることで、改めて公民館で活動することの意義をそれぞれに考えてもらい、全員で共有した。</p> <p>「黄色は YES、ピンクは NO」と、各色のカードを挙げてもらう。</p> <p>クイズ例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私のサークルは、代表、担当者、会計係、施設予約担当などメンバー全員で役割分担を決めて行っているが、一人の人に負担が偏るような場合は、役割を超えて協力し合って運営している。 → YES or NO ・私のサークルの指導者、講師はこの分野では第一人者で、サークル運営については指導者(講師)が全部決定し、メンバーはその通りに活動している。 → YES or NO ・サークル結成時からずっと代表だった方が引退することになったが、去年は更新の年ではなかったので、変更の届け出はせずにそのまま活動していた。 → YES or NO
印象、反省点	連絡箱の調整会も兼ねていたので、多くの団体の参加があった。更新の年であることの周知をスムーズに行うことができた。グループ形式にした上で、クイズを行い、それぞれの設問のたびに少し話し合いの時間を設けることで、会の運営方法についてお互いに聞き取りをしたり、助言をしあったりすることができた。時間が足りなくて、参加者からの質問、意見を聴取する時間をほとんど取ることができなかった。
配付資料等	利用者懇談会次第、保谷駅前公民館 利用時間区分表、備品使用申請書、西東京市の公民館つどう・まなぶ・つなぐ、空き室の当日貸出について